



# みくびだより

発行 御首神社社務所

## 御挨拶

拜啓 当神社の御神域も深い緑に包まれて新しい息吹が感じられるようになりました。皆様方におかれましては愈々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

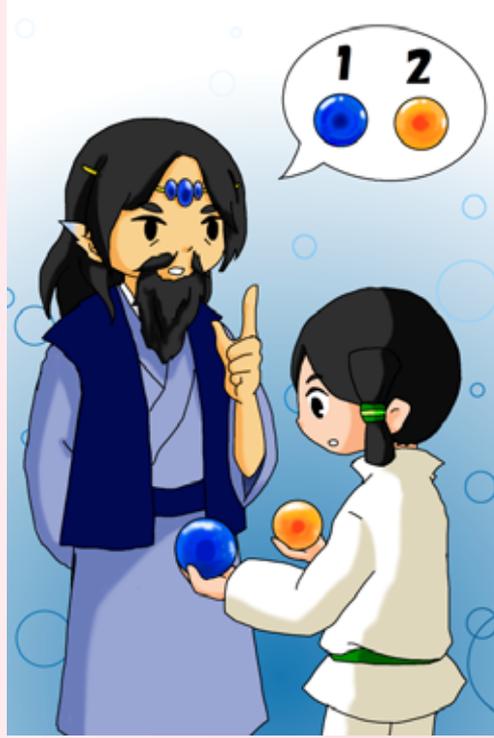
天皇陛下におかせられましては、昨年十二月二十三日、目出度く傘寿のお誕生日をお迎へになられました。ご会見の中で、天皇という立場にあることは、孤独とも思えるものですが、私は結婚により、私が大切にしたいと思うものを共に大切に思ってくれる伴侶を得ました・・・とお述べになられ、手を携えてご公務に臨まれておられる天皇皇后両陛下のお姿は、我々国民にとりまして誠に有り難き極みであります。本年四月には、ご成婚五十五周年をお迎へになられました事は、国民の一人として心よりお祝い申し上げます。

また、両陛下は東日本大震災三周年追悼式にご臨席なされ、震災により犠牲となられた方々とそのご遺族に対し、深く哀悼の意を表されました。この少し前、ロシアのソチで行われた冬季オリンピックでは、宮城県出身の羽生結弦選手が、フィギュアスケートで日本男子史上初の金メダル獲得という快挙を成し遂げました。羽生選手の活躍は日本中にもとより、取り分け震災被災地に大きな元気を与えてくれた事と思います。あの日から三年の月日が流れましたが、まだまだ十分な復興が行き届かぬ地域や、心の傷の癒えぬ人々に一日も早く安らぎが戻りますようお願いいたします。

さて、御首神社崇敬会では、本年三月に伊勢神宮参拝研修旅行を執り行い、真新しい御正殿での御垣内参拝に続き古殿地拝観をさせて頂きました。古殿地より垣間見る新正殿は真に神々しく、二十年に一度という機会に恵まれましたことに深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、皆様には大神様の御神徳を受けられ益々御健勝、御発展なさいますことを心より祈念いたしまして御挨拶とさせていただきます。 宮司 三浦 篤

『海幸彦と山幸彦 その三』 (古事記より)



綿津見神は、意地悪をした海幸彦（火照命）をこらしめようと作戦を考えて、「では、三つの作戦をお伝えしましょう。その一、釣針を返す時は今から教える魚が釣れなくなる秘密の呪文をこっそり唱えること。その二、もしも田んぼを作る時は、海幸彦の隣には作らないこと。これは水の神である私が山幸彦（火遠理命）さまの田んぼにだけ水を流して、お米が獲れるようにするためです。その三、海幸彦がまた意地悪をした時は、この塩盈珠と塩乾珠と言う不思議な二つの玉を

使うのです。この玉は…使ってみてのお楽しみですよ。ただし！玉を使う順番が大切で、塩盈珠を絶対最初に使ってください。」と言いました。そして綿津見神は鮫を呼び「この海の中で、山幸彦さまを一番早くお送りできるのはこの鮫です。鮫に乗ってお気をつけて行ってらっしゃい。」と山幸彦を見送りました。

山幸彦は鮫に乗り、海幸彦の所へ帰りました。帰ってすぐに釣針を返したのですが、返す時にももちろん秘密の呪文をこっそり唱えました。針を見た海幸彦は「それは俺の釣針だ！何をボソボソ唱えている？良いから早く返せ！」と針を横取りしました。そして「実は、お前が針を探している三年間、釣りも出来ないから田んぼを作ったのだ。そうだ、お前も俺の田んぼの隣に作ったらどうだ？」と言いました。でも山幸彦は「いや、僕がお兄さんの田んぼの隣なんて図々しいよ。僕はずーっと下の方に作るよ。」と、綿津見神に言われたとおり、違う所へ田んぼを作る事にしました。

さて、自慢の釣針が戻ってきた海幸彦ですが、秘密の呪文



のせいで魚が一匹も釣れません。しかも、折角作った田んぼはすぐに枯れてしまい、山幸彦の方だけお米が獲れるので、海幸彦は何かおかしいぞと思い「おい！俺の釣針や田んぼにイタズラしたな 許さん！お前の田んぼも、お前の弓矢も全部壊してやる」と、山幸彦に襲いかかりました。

山幸彦は今だと思い、綿津見神に貰った塩盈珠を取り出しました。すると玉から沢山の水が溢れ出て、あっという間に海幸彦を包み込んでしまいました。海幸彦は息も出来ず溺れ

てしまい「ぶくぶく…た・助けて。お…俺が悪かった。ぶくぶく…も、もう意地悪な事はしないし、これからは優しい兄になるよ…。だから…た、たすけて。」と泣いて謝りました。それを見た山幸彦は「約束だよ！」と言って今度は塩乾珠を取り出しました。すると、あら不思議？水が玉の中へ吸い込まれて消えてしまいました。

それ以降二人は仲良く暮らし、山幸彦（火遠理命）は邇邇芸の命の後を継いで葦原の中つ国をまとめて行きました。



おとうさん おかあさん おじいちゃん おばあちゃんへ！

古来より伝わる神話を、お子さまやお孫さまと一緒に読んでいただき、子供たちの情操教育の一助となりましたら幸いです。

### 祭事報告

#### 例大祭

四月二日午後三時齋行

当日は天候に恵まれ、朝一番で発輿祭が執り行われ、神輿を担ぐ子供達の「ワッショイ・ワッショイ」と元気な掛け声と共に、子供神輿が氏子町内へ巡幸に繰り出しに行きました。



午前中の境内は、平日と言うこともあり穏やかな雰囲気でありましたが、巡幸を終えた子供神輿が神社へ戻る頃には、多数の露天が所狭しと立ち並び香具師の威勢の良い声が響きとても賑やかな様相に変わりました。  
お昼を過ぎると、境内の特設舞



台では歌謡ショーや手品などが次々と催され、境内は一層賑やかな空気に包まれました。

午後三時、献幣使をお迎えし、宮司以下祭員氏子総代及び多数の崇敬者により、恙なく神事が進められる中、楽人による雅楽に合わせ、舞楽「蘭陵王」も奉納され、優雅にして厳かに納められました。境内の桜も時を合わせて満開となり、祭に賑わいを添えていました。

#### 諸祭典(抜粋)

- |      |        |
|------|--------|
| 月次祭  | 祈年祭    |
| 年越大祓 | 鎌山神社例祭 |
| 元旦祭  | 南宮神社例祭 |
| 左義長  | お田植祭   |
| 浄火祭  | 農休祭    |

### 御首神社崇敬会 神宮参拝研修旅行

御首神社崇敬会では毎年五月中旬に神宮参拝研修旅行を開催しております。基本的に日帰りでありますが、第六十二回神宮式年遷宮の奉祝行事参加時(お木曳き行事・お白石持ち行事)には、一泊二日にてご奉仕してまいりました。

そして本年は、古殿地拝観(外宮のみ)期間内での企画旅行として、三月十四日に式年遷宮後初の参拝研修旅行が執り行われました。

先ずは、御正宮にて清々しい心持ちで御垣内特別参拝をさせて頂きました。目の前に広がる白木の御社殿は決して煌びやかでは無いのですが、とても神々しく輝き、神宮林の深緑に包まれし御姿に、これまで感じたことの無い深い感銘を受けました。

御垣内参拝に続いて、古殿地内の特別拝観へ足を進めます。道順は北宿衛屋横から入り、旧正殿の東側を半周する様に正面に廻り、外玉垣南御門へ向かいます。旧正殿以下諸社殿を間近に拝観させて頂きましたところ、茅葺きの屋根は随分と痩せ落ち、随所に腐食が

見受けられ、二十年という歳月が伝わってまいりました。

私は、旧御垣内にて新正殿が眼に映り込んだ瞬間、深々と頭を垂れておりました。そして、この瞬間この場所に立ち会えてある事に、ただただ感謝し「ありがとうございます」と口にしなから古殿地を後にしました。

今回の参拝研修旅行は、意義深く貴重な体験となりました事は言うまでもありません。

権禰宜 大島洋紀



#### 退任職員挨拶

平成二十年秋に奉職させて頂き早五年五ヶ月を迎え、この度退職する事となりました。多くの方々にご指導・ご鞭撻を賜り心より御礼申し上げます。  
有り難うございました。



東 敬語

# 帽子の祈願奉納



当神社の正面から境内に入りますと、右手の方角に帽子がたくさん掛けてある建物がございます。これらの帽子は、ご使用になられた物であり、全てのお帽子に切実な願いが込められております。「手術の無事成功・諸病平癒・健康継続・試験合格・家庭円満」等々願いは多岐に亘ります。

奉納されました帽子は、年末まで安置され、翌年二月三日の淨火祭にて、祈願成就のご報賽また諸願成就を願い、忌み火を以つてお焚き上げされます。

さて、とても残念なことに時々建物内に帽子が投げ込まれており

ます。粗末にはいけないと思いが当社にお持ちになられた方が申込方法が分からず、やむなく放置されたと思われまます。

そこで、改めて帽子の祈願奉納の概略につきましてご案内いたします。

【申込種類】	祈願奉納
【申込場所】	御首神社社務所
【受付時間】	九時から十七時
【奉納対象】	帽子(ご存命の方)
【初穂料】	お一人につき帽子一個目を祈願奉納とします
帽子 一個目奉納	五百円
二個目	各百円

例	さんが、自分のお帽子五個をご持参された場合
祈願奉納	一個 五百円
処分	四個 四百円
合計初穂料	九百円

例	さんが、自分のお帽子三個と、孫の君のお帽子二個をご持参された場合
祈願奉納	二個 千円
処分	三個 三百円
合計初穂料	千三百円

このように申込が済みましたお帽子は、随時お掛けしております。しかしながら、処分帽子のみでのお申込、お亡くなりになられた方のお帽子のお預かりは一切いたしておりませんのでお含み置き願います。尚、早急に処分を希望される場合は、焼納感謝祈禱をお申込下さい。お急ぎでない場合、浄火祭(毎年二月三日)当日の午前中にお持ち頂ければ、忌み火にてお焚き上げいたしております。

その他、ご不明な点がございましたら、社務所までお尋ね下さいますようお願い申し上げます。



【建物内の様子】

## 御首神社ホームページ 神職への質問Q & A

**問** こんにちは。お尋ねいたします。この前近所の神社に参拝しましたら、普通のお守りのほかに肌守りというのがありました。その神社で聞けば良かったのですが、肌守りと普通のお守りの違いとはどのようなものなのでしょうか？ よろしくお願いたします。

**答** 当社では現在「肌守り」を授与しておりませんので、一般的な解釈としてお答えします。

お守りは、古くはお受けになられた方が、自ら布の袋を捲えその中にお守りを納め(袋に紐を通し首から提げる)身につけておりました。現在、神社で目にするお守りの大方は、この布袋に入った状態になります。

一方「肌守り」は、肌身離さず身につけてお守り頂きたいと言っ願うから肌着の上に「肌守り」を載せ、一回り大きな布を被せて周りを縫いつけます。

身に付ける方法の違いこそあれど、お守り戴く大神様の御恵みは等しく有り難いものです。

### 祭事案内

西宮神社例祭 七月十七日  
 末廣稻荷神社例祭 八月三日  
 夏越大被

八月三日午後三時半  
 神事は境内の遙拝所(車のお被いをする所)前にて斎行致します。皆様が、半年間に亘り知らず知らずの内に受け犯している罪・穢れを人形(ひとがた)に託し、袂い清め焼き上げます。神事終了後より茅の輪くぐりを行います。

人形は社務所・拝殿等に用意してございますので、是非ともご参拝の際に人形に必要事項をご記入の上、身体を撫で息を吹きかけ専用封筒(左の画像参照)でお志と共に社務所へご提示下さい。



長寿祈願祭 九月十五日  
 神明神社例祭 十月十七日  
 七五三祝祈禱 十一月

平成26年 七五三		
	数え歳	満年齢
7歳	平成20年 生まれ	平成19年 生まれ
	平成21年 生まれ	平成20年 生まれ
	平成22年 生まれ	平成21年 生まれ
5歳	平成24年 生まれ	平成23年 生まれ
	平成25年 生まれ	平成24年 生まれ
	平成26年 生まれ	平成25年 生まれ
3歳	平成28年 生まれ	平成27年 生まれ
	平成29年 生まれ	平成28年 生まれ
	平成30年 生まれ	平成29年 生まれ

元々、男の子は三歳と五歳、女の子は三歳と七歳にてお祝いされてきました。近年は男女共に三歳・五歳・七歳にてご参拝される方が多数お見えになります。また、参拝時期も十月初めから十二月中旬までと随分長くなっております。

当神社では、七五三のお祝いご祈禱を十一月を中心にお仕えしておりますので、ご家族お揃いのご参拝お待ちしております。

- ・ご祈禱初穂料 五千円
- ・予約不要
- (受付時間 午前九時～午後四時半)

崇敬会大祭 十一月三日

御首神社崇敬会大祭は、御首大神の御守護をお願いし、ご家族の無病息災・生業繁栄・家内安全・子孫の繁栄をご祈願申し上げる崇敬会会員の年に一度の大祭です。

当日は、袂いの後昇殿いただき、参列会員のお名前を一人一人ご神前にご奉告いたします。神事斎行後、お名前の書かれた金幣串を奉り拝礼頂き、大祭が納まります。

また、祭典後には境内設営テントにて御神酒が振るまわれ(お車でお越しの方にはご遠慮頂いております)、大祭祈禱神符と記念品が授与されますので、多数ご参列賜りますようお願いしております。



新嘗祭 十一月二十三日

### 崇敬会入会のご案内

本会は、「古来首より上の諸病を憂うる者此の社に願えば靈験あらたか」と伝わりし御首神社の御神徳に感謝し、「ご家族の諸病平癒・無病息災・家内安全生業繁栄並びに子孫繁栄を願う崇敬者の会」として設立されました。

#### 会員の特典(抜粋)

- ・入会報告祭の実施
- ・誕生特別祈禱の実施
- 及び祈禱神符の授与
- ・主要祭典のご案内
- ・昇殿参拝

#### 会員の種類と年会費

個人	三千円
家族	五千円
特別	一万円
法人	二万円
名誉	三万円

編集後記  
 次号掲載予定の神話を以て古事記の上巻が終わります。

### 御首神社社務所

岐阜県大垣市荒尾町二二八三の二  
 TEL 〇五八四九一 三三〇〇  
 Eメール syamusyo@mkubi.or.jp